



# 第三中学校だより

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校  
TEL 048-461-3306  
相談室 TEL 461-6698

〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1  
ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>

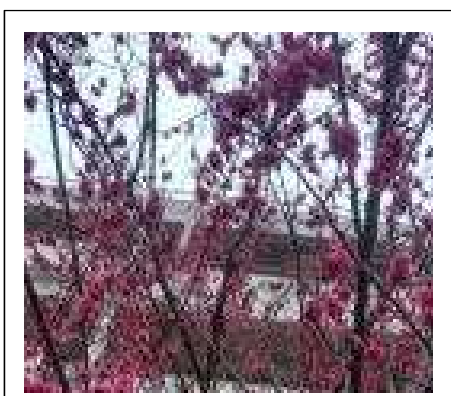
令和6年2月5日発行

校訓

- 健康な体
- 豊かな心
- たゆまぬ学習

## 「平常心」であること

校長 近藤 克代



2024年の「立春」は2月4日(日)です。(このお便りが手元に渡るときは立春が過ぎてしまっていますが)春の始まりを表す言葉であり、二十四節気(季節の区分)では暦の上では春となります。立春にまつわる風習は、節分(豆まき)などがありますが、「立春大吉」と書かれた札を貼る風習もあるようです。「立春大吉」という名前は縁起のよい名前ですが、この文字を和紙に墨で書いたとき、表からも裏からも同じ「立春大吉」と読むことができ、厄除けや邪気を払うといわれているそうです。春になると花の蕾が自然と花開き、新しい芽が息吹きだし始める「立春」を迎えるこの時期は、福をもたらす縁起がよい季節とさ

れています。まだ、寒く、春の陽気まではもう少し先ですが、福が皆さんに訪れますようにと願います。

右の写真は、1月25日(木)～1月27日(土)の3日間、新潟県南魚沼市のシャトー湯沢スキー場へ出かけた2年生のスキー林間学校の様子です。今年は暖冬で雪不足が心配でしたが、十分な積雪と、雪続きの天候でしたが無事に終わることができました。2年生にとっては初めての宿泊行事でしたが、準備から当日まで様々な経験を通し、自己管理をする力と、他人(部屋の人、スキー班、宿の方々)と過ごすことで、コミュニケーション力を身につけることができたことが、何よりの成果と考えています。



話は変わりますが、2学期後半から、3年生(一班ごと、5,6名)の生徒と一緒に、校長室で給食の時間を過ごしました。私から質問をしたり、生徒から質問を受けたり、約20分間でしたがあつという間の楽しい時間を過ごしました。その最中、ある生徒に、「校長先生に質問ではなく、これから受験する私たちに、エールをもらえませんか?」と。私は、エールではなく、心得として「平常心」という言葉を送りました。“受験と特別な事として捉えがちだが、いつものように時刻通りに目覚め・『いつものように〇〇をする』。特別ではなく平時と同じ態度(行動)を心得るからこそ、初めての挑戦をする大事な時に、不安や緊張、興奮などの感情が少し軽減され、準備してきた力が発揮できると信じている”と話をしました。3年生にとって次へのステージへの挑戦をするこの時期は、不安と緊張の毎日を過ごしている中ではありますが、3年生に限らず、私を含めた全員へ、新しい出来事に直面した時、この「平常心」を持てるよう、日々の生活を大切に過ごしていきたいと改めて思いました。

左上の写真は管理棟前の紅梅の写真です。この紅梅だけではなく、本校には『春』を知らせる植物がたくさんあります。これらの植物が花開き、学校に彩りを添えるとき、時間は着実に進んでいることに、嬉しくもそして少し寂しくも思うのが、毎年恒例です。